

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-3
高齢者福祉の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 高齢者福祉課長 安食 治外 電話番号 0852-22-5236

事務事業の名称	介護施設等整備事業（総合確保基金分）	
目的	(1) 対象	市町村又は民間事業者が行う介護施設等の基盤整備事業
	(2) 意図	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域密着型サービス施設・事業所等の整備に対して支援を行う。
事業概要	消費税増収分を財源として造成された基金を活用して、介護保険事業計画に基づいて整備される介護保険施設等の整備費の一部を助成する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	整備実施施設数の割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	整備実施施設数/整備実施予定施設数	取組目標値						
			実績値	100.0	100.0	100.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	169,904	292,034
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成29年度整備実績
 ・認知症高齢者グループホーム 1箇所
 ・小規模多機能居宅介護事業所 3箇所
 ・特別養護老人ホーム多床室のプライバシー保護のための改修 2箇所

6. 成果があったこと（改善されたこと）

市町村と連携して整備計画を適切に把握し、地域における介護サービスの受け皿整備に繋がった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

本事業は、市町村が計画に基づいて実施する介護サービス基盤整備に対する補助事業であるが、整備が計画通りに進まない

②困っている状況が発生している「原因」

人材確保が困難であることや、事業所を開設するも利用率が低いことから事業を廃止する事業者も存在する。

③原因を解消するための「課題」

市町村における整備計画の進行管理について、情報を共有するとともに、計画に基づく整備を支援していく必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

本事業は、平成27年度から「医療介護総合確保基金」を財源として新たに構築された事業である。第7期介護保険事業計画（H30～H32）の策定を受け、今後は同計画に基づき整備が進められていくことから、県としても必要な情報提供や助言等を行うとともに整備計画の把握を行い、必要な予算額の確保に努め、整備事業が円滑に行われるよう支援していく。